

帯学習の時間を活用した学力向上の取組について

〔情報提供〕授業改革推進 倉敷小学校チーム

学力向上を目的として、多くの学校で導入されている帯学習の時間は、小学校での外国語の教科化により、さらに注目を集めています。本通信では、この帯学習の時間を有効活用することにより、学力向上に組織的に取り組んでいる県内外の学校の実践を、授業改革推進チームからの情報提供により紹介します。



組織的な取組【朝ペン先生】(倉敷市立菅生小学校)

岡山県



朝の帯タイムを活用して、国語、算数を中心とした基礎的・基本的な問題に取り組みます。担任の先生だけでなく、管理職・専科の先生など、学校全体で指導に当たります。指導体制を充実させることで、個別に支援が必要な児童に対し、きめ細かな指導ができます。つまずきに早めに気づき、適切な支援を行うことで、知識・技能の確実な定着につなげることができます。

他県での事例

基礎・基本の定着をねらった取組(広島県尾道市立土堂小学校)

広島県



帯学習を活用して、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための「読み・書き・計算」を中心とした徹底反復学習を行っています。

習得にはスピード・テンポ・タイミング・個へのアプローチが大切です。声に出すことで、脳の活性化が図られ、児童の学習能力や集中力が高まります。また、基礎・基本の定着を徹底することで、応用力の向上も期待できます。

【各教科での取組例】

- 国語…音読・辞書引き・漢字・ローマ字等
 - 算数…計算・概数・単位換算・図形等
 - 社会…地図記号・都道府県・歴史・世界の国々等
 - 理科…実験器具・理科用語等
 - 英語…食べ物・国などの名前等
- フラッシュ教材など、様々な教材・教具を活用して、学習していました。



毎週金曜日の午後に15分間の「enjoyタイム」を設定し、対話トレーニングを行っています。

「振り返りの力を育てる対話」「アクティブワードの徹底をめざした対話」「英語表現を用いた対話」など、ねらいを焦点化し、ペアやグループで取り組んでいます。



【アクティブワード 対話力を向上させるための言葉】

相手の話に反応したり、会話を引き出したりする言葉です。よい聞き手を育てることが、よい話し手を育てることにつながります。児童が対話の中でこれらの言葉を積極的に使うことで、学び合いが充実したものになっています。

アクティブワード
Active Word

きこう

うんうん。 Ah-huh. Yeah. Mm. hrm.

へえ〜。 Really?

なるほど。 I see!

そうそう。 Me too!

いいねえ。 That's good!

ひたひた 引き出そう

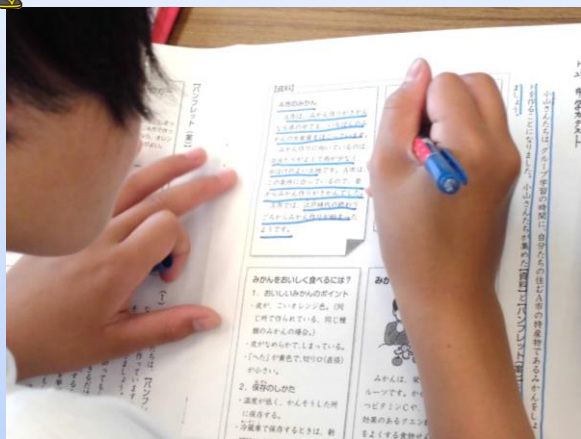
なんで? Why?

それでそれで? And so?

ほかには? What else?

たとえば...? For example?

もう少しくわしく教えて。 Please tell me more.



授業の始めの5分間で、羽咋市の学力調査問題に取り組んでいました。児童は、線を引ながら考えたり、友だちと考えを交流したりしていました。本時の学習と関連した調査問題を扱うことで、学習の視点を明らかにしたり、課題意識をもたせたりすることにつながります。

全国調査問題は、実際の授業場面を想定して出題されており、授業改善のヒントが詰まっています。身に付けさせたい力を意識して、帯時間で調査問題を扱ったり、授業に取り入れたりすることで、活用力の高まりが期待できます。



- Point 1. 児童にどんな力を付けていきたいか、目的を明確にしましょう。
- Point 2. 学校全体で系統的な指導計画を立てましょう。
- Point 3. 組織で共通理解を図り、徹底・継続した指導をしましょう。

(注意) 帯時間を授業時数としてカウントする場合は、関係法令及び学習指導要領に基づいた教育課程の編成が必要となります。